



平成30年度 学校だより

北醍醐特別号

＜学校評価アンケート結果特別号＞



平成31年2月15日
京都市立北醍醐小学校
校長 城野 健司
TEL：075-572-5353

＜学校教育目標＞

お互いを認め合い 自ら考え主体的に行動する 心身ともに健康な子
～やさしく かしく たくましい子～

＜目指す子ども像＞

自分も仲間も大切にすること

自ら学び、考え行動する子ども 自らを律し、正しく行動する子ども

平成30年度第2回「学校評価アンケート」にご協力いただき、貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございました。子どもたちのさらなる成長のために改善を図り、教育活動に活かしていきます。北醍醐の子どもたち一人一人のびのびと成長し、安心して自己実現をしていけるよう、保護者・地域の皆様には、これからもご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

| *表の数値は、回答の「よくできている」「大体できている」の合計を到達度の割合で示しています。 | 児童 | | 保護者 | | 教職員 | |
|--|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 1回目 | 2回目 | 1回目 | 2回目 | 1回目 | 2回目 |
| お子さんは、安心して楽しく学校に行っている。 | 91.9% | 90.9% | 96.8% | 98.1% | 100.0% | 92.9% |
| お子さんは、友だちにやさしくし、互いに気もちよく関わり、仲よく学校生活を送っている。 | 93.5% | 92.7% | 98.1% | 95.6% | 93.8% | 84.6% |
| お子さんは、家や地域で進んであいさつしたり、学校での出来事を話したりしている。 | 90.3% | 91.5% | 84.7% | 89.2% | 93.3% | 88.2% |
| 学校は、子どもについて気軽に相談でき、適切に応じてくれる。 | 77.0% | 70.9% | 92.2% | 89.9% | 92.9% | 80.0% |
| お子さんからは、授業で積極的に学ぼうとする様子がうかがえる。 | 85.8% | 82.4% | 88.0% | 79.7% | 91.7% | 76.9% |
| お子さんは、自分から読書したり本を使って調べたりしている。 | 75.1% | 67.9% | 59.4% | 57.6% | 66.7% | 78.6% |
| お子さんは、「15分×学年（5・6年生は60分～90分）」の家庭学習（宿題）の習慣が身についている。 | 79.3% | 73.3% | 68.4% | 68.4% | 81.8% | 93.3% |
| お子さんは、学校のきまりや安全のルールを意識し、守っている。 | 94.5% | 95.2% | 93.9% | 96.8% | 93.8% | 88.2% |
| お子さんは、十分な睡眠をとり、早起き、洗顔、歯みがきをし、朝ごはんを食べるなど基本的な生活習慣が身についている。 | 83.8% | 81.2% | 90.6% | 89.2% | 100.0% | 93.8% |
| 学校は、安全面における適切な配慮をしている。 | 97.1% | 93.9% | 94.2% | 98.1% | 71.4% | 84.6% |
| お子さんは、下級生を大切にしたり、上級生と仲よくしたりしている。 | 90.6% | 91.5% | 96.1% | 96.2% | 100.0% | 94.4% |

＜今後も伸ばしていきたいこと＞

- * 友だちと互いに気もちよく関わり、仲よく学校生活を送っている。
- * 学校のきまりや安全のルールを意識し、守っている。
- * 下級生を大切にしたり、上級生と仲よくしたりしている。



＜さらに取り組むべき課題＞

- * 授業で積極的に学ぼうとする様子がうかがえる。
- * 自分から読書したり本を使って調べたりしている。
- * 「15分×学年」の家庭学習（宿題）の習慣が身についている。

＜お互いを認め合う子【豊かな心】＞

1. 子どもは、楽しく学校に行っている。

児童、保護者、学校の3者ともに実現度は9割を超えましたが、減少傾向が見られたことは、改善すべき課題だととらえています。学習、休み時間の遊びも含めたすべての学校生活、友だちとの関わりの中で、子どもたちの不安要素に敏感になり、子どもたち一人一人がなりたい自分を思い描いて毎日をいきいきと過ごせるよう支援していきます。

2. 子どもは、友だちにやさしくし、互いに気もちよく関わり、仲よく学校生活を送っている。

児童・保護者ともに実現度が9割を超え、友だちとの関わりを大切に学校生活を送っている様子がうかがえます。一方で、互いを大切にする子どもの育成を目指している教職員は、「自分から挨拶」「相手をさん付けで呼ぶ」「正しい言葉遣い」の指導が徹底できていないと感じており、割合が減少しました。相手を思いやる行動の実践を、今後も続けてまいります。

3. 子どもは、家や地域で進んであいさつしたり、学校での出来事を話したりしている。

児童、保護者ともに実現度の割合が増えました。子どもたちにあいさつの習慣を促し、帰宅後の子どもたちの話に耳を傾けていただいたり、ときには学校での出来事を興味深く尋ねていただいたりしたおうちの方のご支援のおかげだと感じています。毎朝北醍醐の子どもたちの登校を温かく見守って下さっている見守り隊の方々からも、「子どもたちとあいさつを交わすことで元気がもらえる。」「ちょっとした会話がうれしく、お互いがほっとして心が温くなる瞬間。」というお言葉をいただきました。あいさつや会話から生まれる温かい気持ちをこれからも大切にしていきます。

4. 学校は、気軽に相談でき、適切に応じている。

本項目については、実現度の割合が三者ともに減少しました。子どもたちの自分で解決しようとする姿勢は尊重しつつ、「何かあれば相談できる。」「話を聞いてくれる。」という安心感をもって学校生活を送ることができる学校・教職員でいられるよう、さらに児童理解に努めてまいります。全校朝会では、「いじめは絶対に許さない。」「嫌なことがあったら、学校の中のどの教職員でもいいから話してみよう。」という呼びかけを行っています。つらい思いを抱えて一人で思い悩む子どもたちをつくらないう、また保護者の皆様からも気軽にご相談いただける場であるよう、学校全体で取り組んでまいります。学習においても、わからないところは、気軽に「わからない。」と伝えられる学級づくりを、引き続き進めていきます。

11. お子さんは、下級生を大切にしたり、上級生と仲よくしたりしている。

三者ともに実現度が9割を超え、良好な関係がうかがえます。運動会、なわとび大会等で縦割りの「たかつか班」で活動する事が増えたことで、さらに学年を超えた交流が深まりつつあるようです。「お手本になる高学年」「リーダーを支える低学年」であることに自信をもって、次の学年への進級の準備を進めてほしいと思います。

＜自ら考え主体的に行動する子【確かな学力】＞

5. 子どもは、授業で積極的に学ぼうとする様子がうかがえる。

三者ともに実現度が減少し、課題であるととらえています。「わかった!」喜びや「もっと知りたい」という探究心をくすぐる授業のあり方をさらに追求する必要性を感じています。1時間の学習の「めあて」が、子どもたち自身の「疑問」であり「知りたいこと」であるように、そして授業を通して自分の疑問を解決していくことのおもしろさを感じられるように、これからも授業研究に励み、実践していきます。

6. 子どもは、自分から読書したり本を使って調べたりしている。

実現度の割合が低かった第1回目よりさらに割合が減少する結果となりました。読書が好きな児童は多く、学習の合間に本に親しむ姿や、朝読書の時間を利用した一人一人の読書活動は充実していることから、放課後にじっくり読書をする時間の無さやパソコンやスマートフォンなど本以外のツールを使っている調べ学習の手軽さなどに起因していることも考えられます。

本年度は月・木曜日の週2回、学校司書の先生が常駐し、図書室の整備や休み時間の開室、各学年の学習に関連する本の提供など、子どもたちの読書環境を整えてくださっています。また、地域の「子うま文庫」さんには、子どもたちの心に響く絵本の読み聞かせのご支援をいただいています。これからも、本に親しみ、目的に応じて活用する力を育てられるよう、さらなる取組を検討します。学校外でも、子どもたちの読書活動をさらに充実したものにできますよう、お力添えいただきますようお願いいたします。

7. 子どもは、「15分×学年」の家庭学習（宿題）の習慣がついている。

児童の実現度が第1回目に比べ減少する結果となりました。宿題は、授業で学んだことが身についているかを自分で確認する大切なおさらいの時間です。忙しさの中で「こなす」のではなく、「力をつける」という目的で宿題に取り組むことができるよう働きかけていきます。また「宿題以外の自主的な学習」については、中学校との連携の重要事項にも上っており、高学年では中学進学後の自主学習に結びつくような授業の復習やテスト対策としての学習が習慣づけられるよう取り組んでいきます。ご家庭でも、学習のチェックや励ましのお声かけなどご協力をお願いいたします。

9. 子どもは、早寝・洗顔・歯みがき・朝ごはんなどの基本的な生活習慣が身についている。

実現度に若干の減少が見られました。放課後は、それぞれに多様な過ごし方があり、忙しさの中十分な睡眠時間をとることができない事情もあることと思います。時間の使い方を改めて見直し、成長期の子どもたちの健やかな育ちを見守り、子どもたち自身が元気にたくましく学校生活を送ることの大切さを実感できるよう、基本的な生活習慣についてさらに指導を続けてまいります。ご家庭でもご協力をお願いいたします。

<心身ともに健康な子【健やかな身体】>

8. 子どもは、学校のきまりや安全のルールを意識し、守っている。

10. 学校は安全面における適切な配慮をしている。

児童の「安全に気をつけて安心して活動している」という質問に対する回答の割合が若干減少したものの、児童、保護者ともに9割を超える良好な結果となりました。教職員についても、「ルール遵守や危険予測の指導を進め、自ら判断し適切に行動できる力や社会的規範意識の高揚に取り組み、児童に定着してきている」という項目で、回答の割合が前回に比べ増加し、子どもたちに危険を予測し適切に行動することや人とかかわりの中でルールを守ろうとする姿勢が定着してきていることを感じている結果となりました。自分や友だちの大切な命を守るために自分にできることを考える指導をこれからも続けていきます。

～学校生活全体に関わる貴重なご意見をいただきました～

《環境面でのご意見》

教育環境面でご意見をいただきました。

毎年、PTA 役員の方をはじめ、たくさんの方の保護者の皆様にご協力いただき、運動場の除草作業を行っていただいていることを、大変ありがたく思っております。清掃活動につきましては、今後も PTA 役員の方々とご相談させていただき、子どもたちが安全に気持ちよく過ごせる学校づくりに取り組んでいきたいと思っております。

昨年秋に、生活科・理科の学習での観察を終えた北校舎南側のグリーンカーテンを撤去いたしました。新年度が始まりましたら、また新しくグリーンカーテンを設置し、新学年の学習を進めていく予定です。

老朽化してきた施設に関しては、優先順位を決め教育委員会に申請し、可能なところから修理・改修を進めてきています。いただきましたご意見やご感想を参考に、子どもたちが気持ちよく安全に活動できるよう努めてまいります。

《指導に関するご意見》

宿題の点検についてご意見をいただきました。保護者の皆様には、子どもたちの毎日の宿題に励ましの声かけや確認等のご支援をいただき、ありがとうございます。子どもたちが目的意識をもって意欲的に宿題に取り組むことができますよう、教室でも働きかけていきます。

授業の進度についてご意見をいただきました。学年の学習内容についてはすべて履修をするよう、見直しをもって実践してまいります。学習において、不安な点や分からないところがあれば、いつでも申し出られるようお子たちにも声かけをいたします。

学習道具の持ち帰りについてのご意見をいただきました。必要な物のみを持ち帰り、同じ日に集中することがないよう学習計画を立てていきます。

《学校行事に対するご意見》

学校行事についてお考えをいただきました。修学旅行先に関しましては、費用に上限が設けられております。限られた予算の中で、十分な見学時間や体験時間を確保し、訪問先で学んだことや身につけた力を今後の学校生活に生かすことができる有意義な修学旅行となるようこれからも計画してまいります。

また、今年度は天災による被害の修復が間に合わず実施を断念いたしました「たてわり登山」につきましては、来年度実施できますよう計画を進めてまいります。

その他の学校行事に関しましては、授業時間数を保障し、学習内容との関連を踏まえて実施していきます。

《PTA 活動についてのご意見》

PTA 役員の方々の学校活動に対する多大なるご協力について、感謝のお言葉がありました。学校としても、本当にありがたく、大変感謝しております。役員の方々のご負担を軽減したいのご意見をいただきました。保護者の皆様が気持ちよく PTA 活動にご協力いただけますよう、本部の方々とご相談させていただきながら、活動を進めてまいります。

その他にも、お褒めや激励のお言葉を頂戴しております。貴重なご意見をくださいましたことに感謝申し上げます。有難うございました。

この印刷物が不要になれば、「雑がみ」として古紙回収等へ！



子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で

「子どもを共に育む京都市民憲章」を实践しましょう！

